

12月6日のウクライナ情報

安齋育郎

①【4日のニュース】COP28、日本が「化石賞」受賞／EU、8兆円のウクライナ支援取りやめか(Sputnik 日本、2023年12月4日)

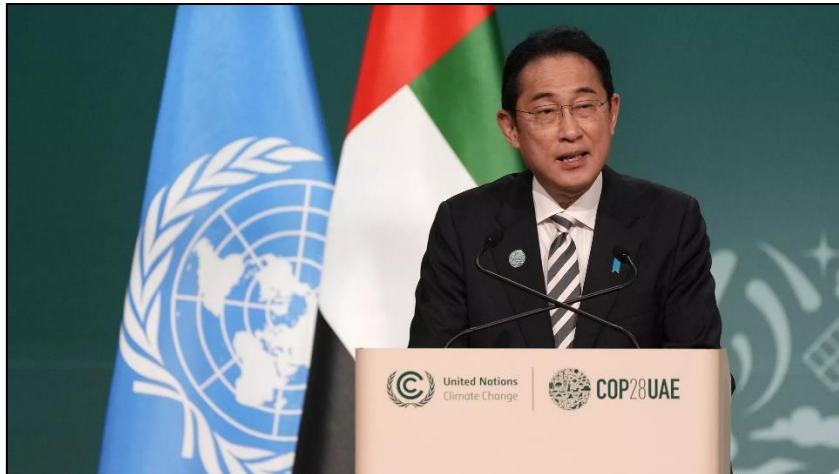
日本、COP28 で不名誉な「化石賞」を受賞

アラブ首長国連邦(UAE)・ドバイで開かれている国連気候変動枠組み条約第 28 回締約国会議(COP28)で、国際的な環境 NGO「気候行動ネットワーク(CAN)」は 3 日、地球温暖化対策に後ろ向きな国に贈る「化石賞」に日本を選んだと発表した。日本の各メディアが報じた。

日本が受賞した理由は、脱炭素につながるとして、アンモニアなどを化石燃料に混ぜて火力発電所で燃焼させる「混焼」の取り組みを推奨している点。岸田首相も 1 日の首脳級会合で、東南アジアなどへこの取り組みを展開するとアピールした。

これに対し CAN は、「国内だけでなくアジア全体で石炭火力などを延命させ、化石燃料から再生可能エネルギーへの移行を遅らせている」などと批判。温室効果ガスの排出削減効果が疑問視されていることから、「環境に優しいように見せかけているだけだ」と批判した。

CAN は COP 期間中、原則として毎日受賞国を選んでおり、3 日に最初の発表を実施。日本、ニュージーランド、米国を化石賞に選んだ。



EU、8兆円のウクライナ支援を取りやめか

欧州連合(EU)がウクライナに約束した 500 億ユーロ(約 8 兆円)の支援が取りやめになる可能性が浮上している。ドイツの財政危機や、域内での極右政党の躍進が背景にあるという。英紙「フィナンシャル・タイムズ」が伝えた。

同紙が関係者の話として伝えたところによると、今月 14～15 日にベルギー・ブリュッセルで開かれる EU 首脳サミットでは支援について議論されるが、加盟国の合意を得ることは難しいという。背景には「EU の財布」とも揶揄される経済大国ドイツで先月、裁判所が政府の予算調整措置に違憲判決を出し、大幅な歳出削減を求められていること。また、オランダの極右政党躍進やスロバキアの政権交代などで、ウクライナ支援に反対する国が増えたことなどがある。

最終的判断はサミットで下される。仮に成立した場合、500 億ユーロは補助金や「戦略的技術」への投資、EU からの借金の利子を返済するための資金に充てられる。

ウクライナが目指す EU 加盟についてはこのごろ、ハンガリーのオルバン・ビクトル首相が「賛同が

得られないことは予め分かり切っている」として議題にも挙げないよう要求している。

いわゆる「反転攻勢」で成果が出なかったことを受け、ウクライナ支援の費用対効果の低さを目の当たりにした EU 諸国の、ウクライナへの風当たりはますます強くなっている。



紅海で商船 3 隻が攻撃される = 米国防総省

紅海で 3 日、商船 3 隻が計 4 回のドローン(無人機)による攻撃を受けた。現場海域で活動していた米海軍の駆逐艦カーニーはドローン 3 機を撃墜した。米国防総省が発表した。

米国防総省はフーシ派がこの攻撃の背後にいると主張しているものの、「完全にイランによって組織された」とされている。また、今回の攻撃は「国際貿易と海洋安全保障に対する直接的な脅威」だと非難した。

また、英海軍関連機関「英国海運貿易オペレーション」も、イスラエルと対立するイエメンの反政府組織フーシ派が、紅海のバブールマンデブ海峡でイスラエル船 2 隻と英国所有の商船 1 隻を攻撃したと発表。フーシ派も少なくともイスラエル船 2 隻については関与を認めている。

フーシ派は、ガザ地区での停戦終了を受けてイスラエルへの攻撃を再開すると表明していた。



<https://sputniknews.jp/20231204/4cop28eu8-17760538.html>

②【緊急特別編②】及川さんが語る～ロシアが立ち直った2つの要素!!(2023年12月3日)

※20分弱の動画です。

<https://youtu.be/en2HMnPiIDE>

③【ロシアニュース解説】ロシアがみた米中首脳会談～CIA 長官キエフ訪問!!(2023年)

※26分強の動画です。

<https://youtu.be/nGOTov-z7MA>

※安齋注:いつも通り、ウクライナ政権内部や米英との関係で何が進行中かを理解するために興味深いニュース解説です。

1. ロシアからみる米中首脳会談
2. 戦況
3. バーンズ長官キエフ訪問のメッセージ

<https://www.youtube.com/watch?v=nGOTov-z7MA>

④資金が尽きたら米国はウクライナへの武器供給を停止 = 米大統領補佐官(2023年12月5日)

ジェイク・サリバン米大統領補佐官(国家安全保障担当)は、米政府が ウクライナ 支援に拠出した資金を使い果たしたら、ウクライナへの武器供給は停止されることを認めた。

「単純な計算を回避する方法はない。ウクライナに武器を供給するための資金がなければ、我々は単純にウクライナに武器を供給し続ける状況にないということだ」

サリバン氏は米議会議員に対し、ウクライナへの軍事支援を継続する機会を米政府に与えるというバイデン大統領 の要請を支持するよう再び呼びかけた。

一方、米務省のミラー報道官は 4 日、ウクライナ支援のために米政権が拠出した資金が「まもなく」底をつくことをふまえると、米国はウクライナの状況を深刻なものと考えていると述べ、米政権はすでに当初割り当てられた資金総額の 97%以上を費やしたと付け加えた。

バイデン大統領は米議会に対し、イスラエル とウクライナへの支援を含む 1060 億ドル(約 15 兆 8900 億円)の予算を承認するよう要請したが、明確な支持は得られなかった。共和党が多数を占める下院はイスラエルのみを支援を可決したが、民主党が多数を占める上院はこの発案を阻止した。バイデン氏は、ウクライナ抜きでイスラエルだけに支援を拠出する法案には署名しないと述べている。下院共和党はウクライナ支援について個別に議論するよう主張している。



https://twitter.com/sputnik_jp/status/1731819177130988012?s=09

⑤ゼレンスキーは、ウクライナ軍に「丈夫な塹壕を掘る」よう指示した(2023年12月5日)

※安斎注:凍った大地をシャベルで掘って「丈夫な塹壕」づくり。ひっくり返る兵士を見て同僚が大笑いしているが、そんな状況じゃない筈です。

<https://twitter.com/i/status/1731858077094392062>



<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1731858077094392062?s=09>

⑥ブルガリアのラデフ大統領は、ウクライナへの装甲車約 100 台の無償供与協定に拒否権を発動(2023年12月5日)

ブルガリアのラデフ大統領は、ウクライナへの装甲車約 100 台の無償供与協定に拒否権を発動したが、議会の多数派は大統領の拒否権を覆すと約束している。

モスクワ大学の南・西スラブ史学科プチャチン准教授は政治的な内部抗争の一環だと考えている。「大統領と政府の不和は今に始まったことではない」



<https://twitter.com/tobimono2/status/1731863478225285235?s=09>